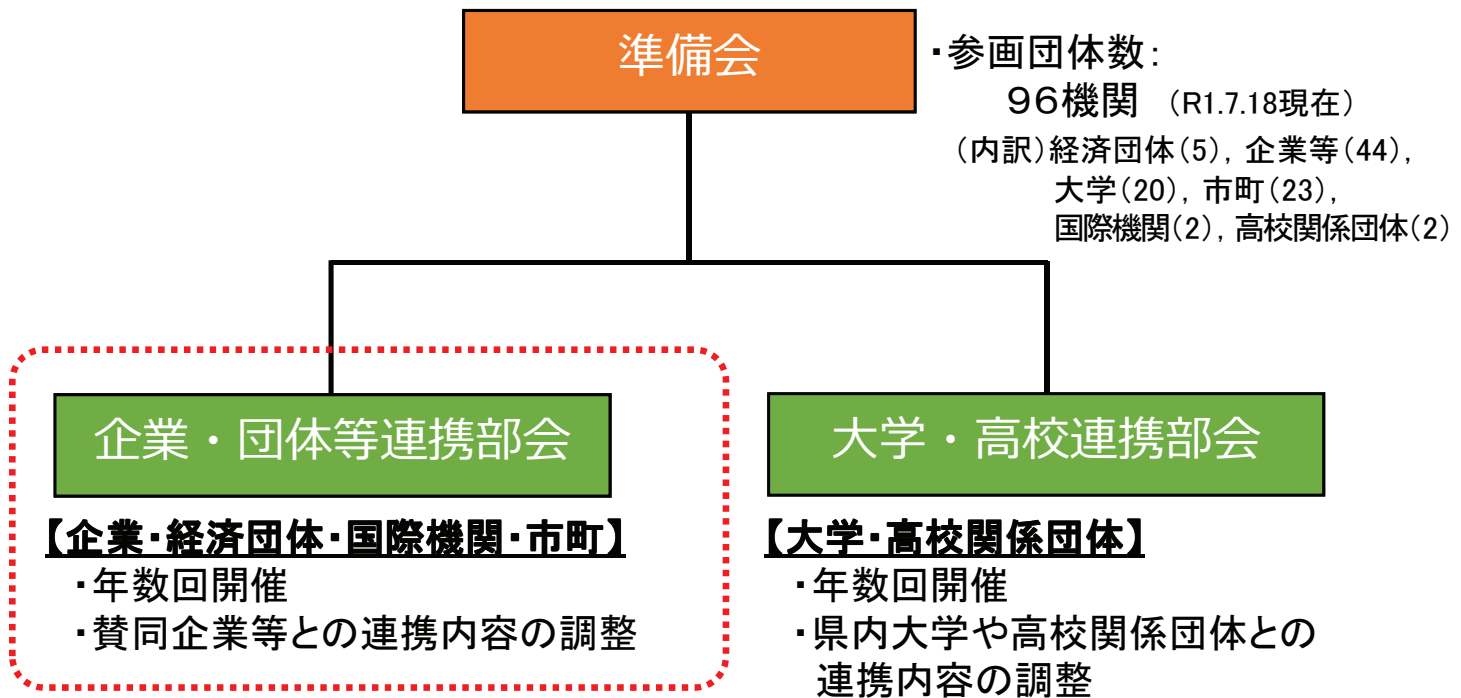


「新たな教育モデル」連携準備会の構成

「組織体制」

「新たな教育モデル連携準備会」



1

企業・団体等連携部会で調整する内容

「第1回企業・団体等連携部会の調整内容」

- ◆課題解決演習（PBL）
 - ・新大学の課題解決演習における課題提供とサポート
- ◆インターンシップ
 - ・国内外におけるインターンシップ受入れ

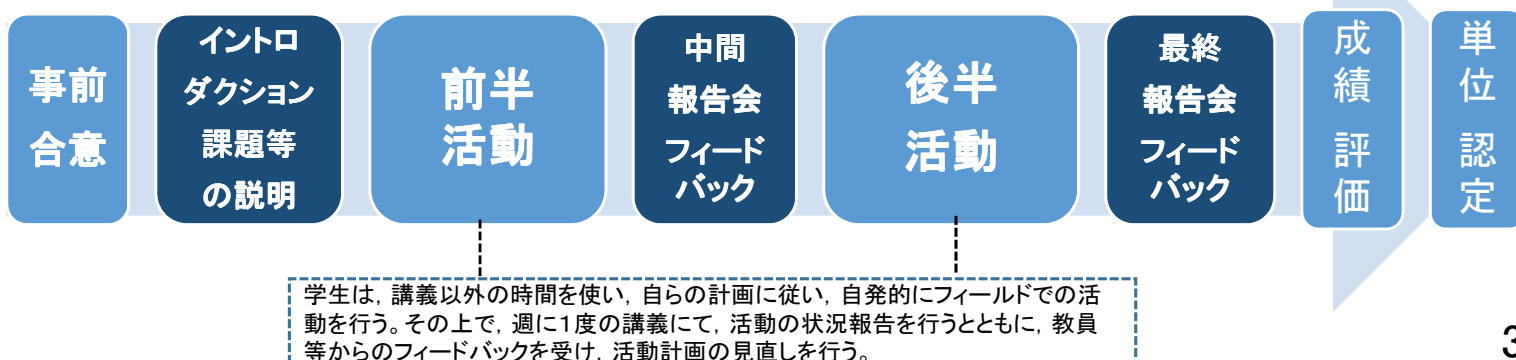
「次回以降の調整内容」

- ◆キャリア・アドバイザー・ボード
 - ・企業社員や自治体職員をメンターとして登録
- ◆講師・ゲストスピーカー
 - ・企業等における専門家を登録，派遣

2

単位認定までの流れ

- テーマおよび課題の設定, ならびに体制について企業・団体等と大学(担当教員)とで事前合意。
- 初回講義(イントロダクション)にて, 課題やその背景等, 必要と思われる知識・情報についてレクチャーを実施する。
- 学生は, プロジェクト計画書を作成し, それに基づき学習を実施する。学生は週2コマの授業を通じてプロジェクトの進捗を, 担当教員と共有し, 必要に応じて, 適時計画を修正しながら学習を進める。
- 期間の前半(3か月)を1サイクルとして, 調査, 課題分析(本質的課題), 解決策(方向性)を実施し, 中間報告を行う。
- 企業・団体等は, 中間報告に対してフィードバックを行うとともに, 必要に応じて適時学生のサポートを行う。
- 期間の後半(3か月)を1サイクルとして, 企業・団体等フィードバックに基づき解決策(方向性)の見直しを行うとともに, その解決策の具体化を通じて, 検証を実施。その結果を基に最終報告として提言を行う。
- 企業・団体等は, 最終報告に対してフィードバックを行うとともに, 必要に応じて適時学生のサポートを行う。
- 担当教員は, 企業・団体等のフィードバック等も参考に, 成績評価し, 単位を認定。



3

課題解決演習(PBL)の基本的な構造

- 課題解決演習(PBL)の基本的に構造は以下の通りです。演習ごとに内容をカスタマイズしていきます。

テーマ

テーマを取り巻く社会課題
→企業・団体等のもつテーマ(課題および背景)を明確化

主担当部門

主な担当窓口部門を明確化

想定関連部門

本プロジェクトに関係する部門を明確化

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
6か月を基本 (3か月での実施も可能)	必須	必須 (ただし, 3か月の場合は最終報告会として実施)	必須

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソンの紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー企業・団体の参加
週次で行われる講義への参加の可否	社内人材の紹介等の可否	業界等の専門知見のレクチャーの可否	外部団体のプロジェクト参加の可否

4

課題解決演習開始時までの事前合意事項について

1. テーマ(及び課題)の設定

- 課題解決演習(PBL)のテーマについては、SDGsのテーマ等社会課題を意識したテーマを設定した上で、企業・団体等における具体的な課題を設定するものとする。
- 企業・団体等と連携した課題解決演習(PBL)を継続的に実施する場合、既に実施済みのテーマを継続して用いるか、新たに設定するかについては、その都度、協議するものとする。

2. 実施体制

- 主担当部門を明確に設定した上で、テーマおよび課題に応じて、必要部署の参加を設定する。
- イントロダクション、中間報告会、最終報告会への参加は対応必須となる。
- 使用言語は、日本語もしくは英語で実施(どちらでも可)。
- その他、以下の対応について、個別に協議をするものとする。
 - ① 講義への参加:学生は週に1回(2コマ)の講義において、担当教員等への進捗状況の報告を実施し、教員からの指導を踏まえ、活動の見直し等のグループワークを実施するが、本グループワークへの参加対応。
 - ② 社内リソースパーソンへのインタビュー:学生の調査活動等の中で、必要に応じて企業内の関連部署等へのインタビューが必要になった時の紹介対応。
 - ③ 専門情報提供:学生の調査活動等の中で、必要に応じて企業の保有する情報等の提供対応。
 - ④ オブザーバー企業・団体の参加:問題解決演習(PBL)に対して貢献可能な企業・団体のオブザーバー参加を含めた体制構築を実施。

3. 契約等

- 企業・団体等からの提供情報に非公開の内容等含まれる場合、秘密保持契約の提携を実施する。(個別協議)
- 課題解決演習(PBL)の成果物等の著作権等は大学に帰属するものとする。(提案内容の実現・使用を拒むものではない) 5

【PBL】モデルケース①:

民間企業【食品】(オタフクソース(株)の例)

テーマ

日本食文化の普及発信と生活者の価値の追求
→新商品・新サービスの調査・企画
→海外展開に向けた市場環境調査と消費者ニーズの把握

主担当部門

人事部

想定関連部門

国際事業本部, 商品企画部, 他

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
3か月	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソンの紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー企業・団体の参加
○	○	○	○

【PBL】モデルケース②:

民間企業【IT】((株)ドリーム・アーツの例)

テーマ

地域イノベーションと新産業創出
→新たなITサービスのアイデア創出

主担当部門

広島本社 新規事業室

想定関連部門

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
3か月・6か月 (内容によって検討)	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソン の紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー 企業・団体の参加
○ (必要に応じて適宜参加)	○	○	○ (参加者については別途協議)

7

【PBL】モデルケース③:

民間企業【交通】(広島電鉄(株)の例)

テーマ

まちづくりとスマート交通
→データを活用したサービス開発

主担当部門

人材管理本部

想定関連部門

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
6か月	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソン の紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー 企業・団体の参加
○	○	○	○

8

【PBL】モデルケース④:

民間企業【製造】((株)広島メタルワークの例)

テーマ

働き方改革

→社員のモチベーション向上(みんなが集える社員食堂の検討など)

主担当部門

想定関連部門

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
6か月	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソンの紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー企業・団体の参加
○	○	○	○

9

【PBL】モデルケース⑤:

民間企業【金融】(三井住友海上火災保険(株)の例)

テーマ

交通事故のない社会の実現

①高齢ドライバーの事故を減らす取り組みの提言(サポートカーの普及策等)

②交通事故を減らすための方法提言(ドライブレコーダー普及や地域見守り体制の構築等)

→これらを通じたサービスやビジネスモデルの検討

主担当部門

想定関連部門

中国本部(経理総務グループ)

グループ企業(株式会社インターリスク総研)

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
6か月	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソンの紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー企業・団体の参加
○ 月に1度 (業務の都合がつけば複数回)	○	○	○ (特に関連公共機関)

10

【PBL】モデルケース⑥： 地方自治体(大崎上島町の例)

テーマ

少子高齢化の進行に伴う伝統文化の継承
→若者の減少に伴う、権伝馬や秋祭り等の参加者不足への対応

主担当部門

想定関連部門

企画総務課 教育の島推進室

地域経営課

【基本対応】

期間	イントロダクション	中間報告会	最終報告会
6か月	○	○	○

【その他プロジェクトサポート等】

講義参加	社内リソースパーソンの紹介・インタビュー	専門情報等提供	その他オブザーバー企業・団体の参加
○	○	× (テーマによっては○)	○

11

【参考】新大学の科目一覧イメージ

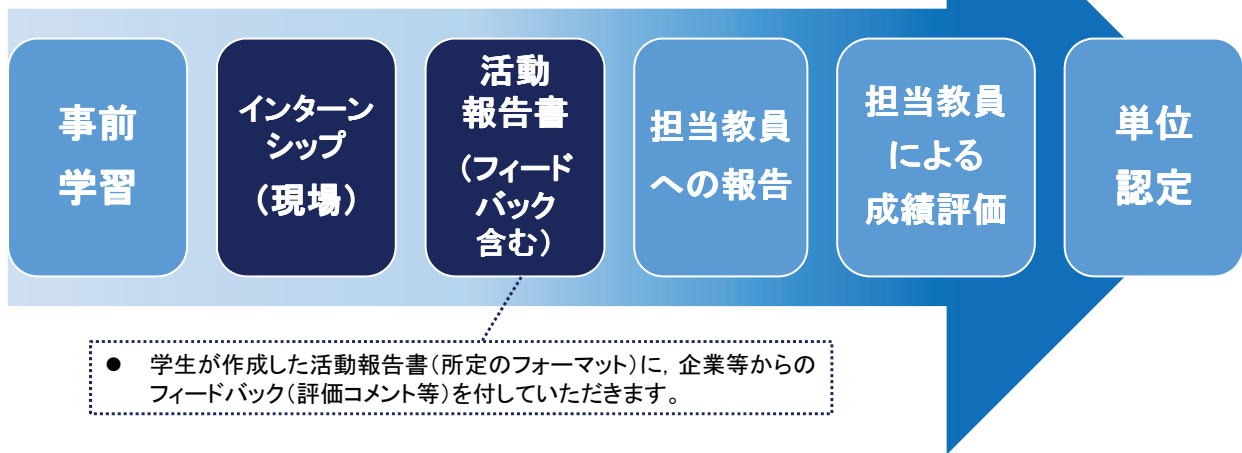
区分	入門科目(100～)	基礎科目(200～)	発展科目(300～)	実践科目(400～)	取得単位イメージ
PBL	課題解決入門	課題解決演習 〔OPBLのテーマ例(実際には企業・NPO等から課題を受けて実施) 多文化共生社会, 女性の活躍促進, 働き方改革, フードバンク, 既存事業の出口戦略, いじめ・ハラスメント, 地域防災/災害廃棄物, 公害, ICTを活用した新規事業創出 など〕		課題設定・解決研究	23
リベラルアーツ科目	(人) 芸術・文学の軌跡 世界の哲学・倫理学思想 歴史学の歩み (社会) 経済原理と行動原理 リ・ガリマイトと政策デザイン 近代社会システムと地理情報 (自然) 自然科学の現在と倫理問題 技術・工学の現在と社会リスク 都市・建築学の現在と環境問題	(人) アニメや映画から学ぶ広島善く生きるための哲学・倫理学 文化を比較することで文化を理解する ジェンダー・ダイバーシティと社会課題 哲学的思考法 人文科学特論 など (社会) 市民参加と地域協働マネジメント CSV経営とソーシャル・マーケティング ソーシャルファイナンスと事業デザイン 地域創生と地域プロデュース 産業構造のパラダイムシフト 社会科学特論 など (自然) アグリバイオテクノロジーの発展と食の未来 インフラ技術の発展と食の未来 災害発生メカニズムと防災 地球環境と持続可能性 人工知能の科学と人類の責務 自然科学特論 など		持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～	43
実践英語	英語集中プログラム 〔スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング・プレゼンテーションの技能を一体的に学修〕	アカデミックリーディング, アカデミックライティング, ファシリテーション英語, プレゼンテーション英語, コミュニケーション英語 など			24
基本ツール	ICT ICT入門, ICTセキュリティ 報告書作成と文書処理 プレゼンテーションとデザイン	ウェブプログラミングとアプリ開発 情報発信技法 など	IoT 利用による問題解決 情報セキュリティマネジメント など		24
	データサイエンス データサイエンス(調査と理解) データサイエンス(統計と計算)	データ分析と統計処理, データの加工とデータサイエンス など	ビジネスにおける機械学習活用 など		
	デザイン思考・システム思考 ロジカルシンキング/クリティカルシンキング/ライティング デザイン思考/システム思考	マーケットリサーチ, プロジェクト・マネジメント/ファシリテーション など	ソーシャル・デザイン など		
体験・実践活動		語学留学プログラム, 国内ボランティアプログラム, 海外ボランティアプログラム 国内インターンシッププログラム, 海外インターンシッププログラム など			10

※詳細な科目設定は、現在検討中であり、今後変更となる可能性があります。

12

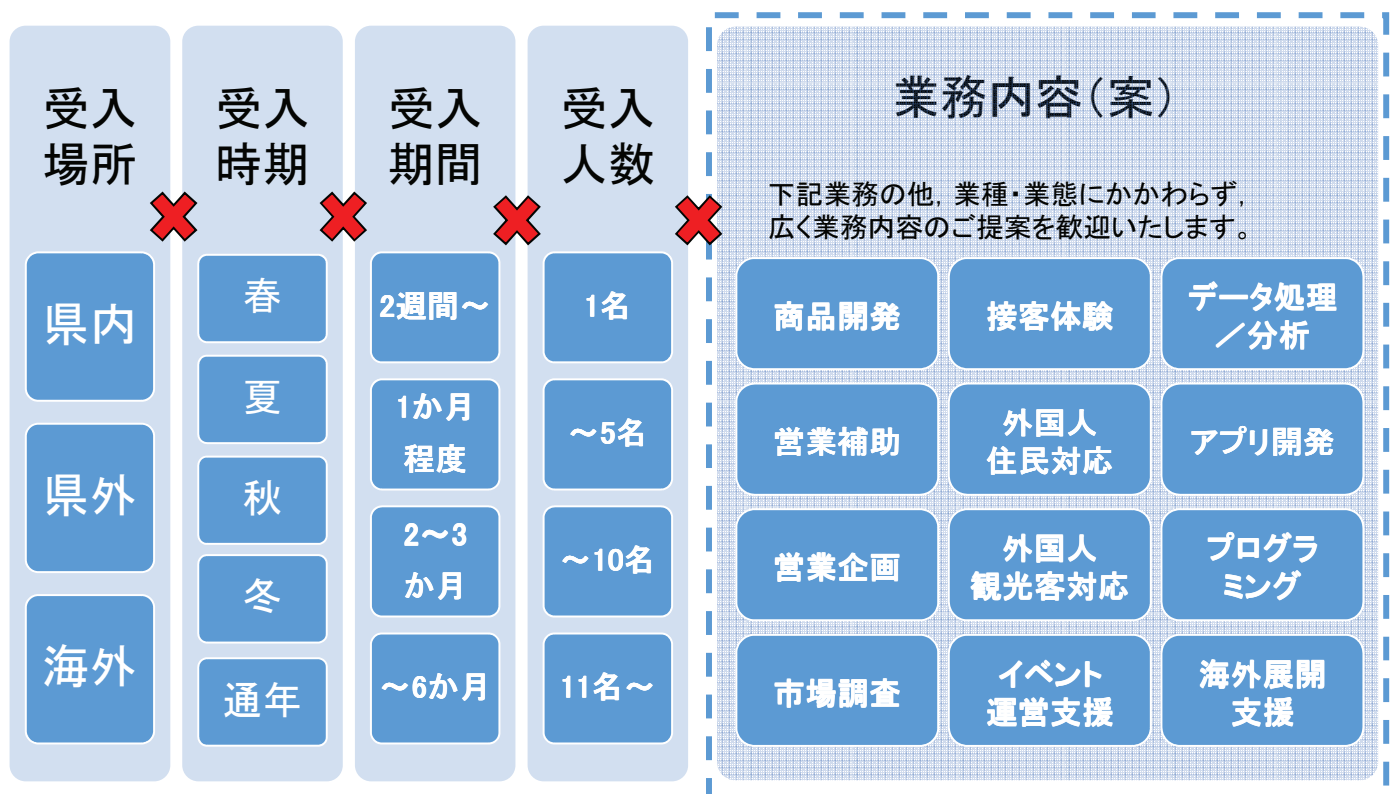
単位認定までの流れ

- インターンシップに入る前に、担当教員・受入先担当者による事前学習を実施。
- 学生は、インターンシップの修了時に、受入先に対して活動報告を行い、受入先からの評価など、フィードバックを受ける。
- 受入先の評価コメントを付した活動報告書に基づき、担当教員が成績評価し、単位を認定。
- 担当教員は、原則、1企業・団体に対して同じ教員が複数年継続して担当。



インターンシップのバリエーション(組み合わせ)

- インターンシップの受入地域、時期、期間、人数、業務内容は、受入先の状況に合わせてカスタマイズ。



【インターンシップ】モデルケース①： 民間企業【食品】（オタフクソース（株）の例）

インターンシップ・プログラムの内容

【受入場所】 オタフクソース本社, Wood Egg お好み焼き館, 広島駅OKOSTAなど(いずれも広島市内)

【使用言語】 日本語 (外国人の接客体験で一部英語を使用)

【受入時期・期間】 夏学期の3か月間受入

【人数】 5名まで

【業務内容】 複数の部署に一定期間ずつ, ジョブローテーション形式で配置し, 商品開発や接客体験, イベント企画・運営支援, 市場調査, 海外展開支援等に携わり, 担当した業務に係る改善点等を総括部門(人事部長)に提案する。

場所	時期	期間	人数	業務内容(案)		
県内	春	2週間~	1名	商品開発	接客体験	データ処理 /分析
県外	夏	1か月 程度	~5名	営業補助	外国人 住民対応	アプリ開発
海外	秋	2~3 か月	~10名	営業企画	外国人 観光客対応	プログラ ミング
	冬	~6か月	11名~	市場調査	イベント 運営支援	海外展開 支援
	通年					

15

【インターンシップ】モデルケース②： 民間企業【交通】（広島電鉄（株）の例）

インターンシップ・プログラムの内容

【受入場所】 広島電鉄本社(広島市内)

【使用言語】 日本語 (外国人観光客へのヒアリングなど, 業務によっては英語を用いる場面あり)

【受入時期・期間】 3か月×4回, 通年で受入

【人数】 1期間に1名程度, 年間を通してのべ4名受入

【業務内容】 企画部門等に配置し, 例えば市民・観光客等へのヒアリング調査やアンケート調査をとりまとめ, 分析した結果を用いて新しい輸送サービスを検討するなど, 特定のテーマを与えて, 社員と一緒に企画立案を行う業務に従事。

場所	時期	期間	人数	業務内容(案)		
県内	春	2週間~	1名	商品開発	接客体験	データ処理 /分析
県外	夏	1か月 程度	~5名	営業補助	外国人 住民対応	アプリ開発
海外	秋	2~3 か月	~10名	営業企画	外国人 観光客対応	プログラ ミング
	冬	~6か月	11名~	市場調査	イベント 運営支援	海外展開 支援
	通年					

16

【インターンシップ】モデルケース③： 民間企業【製造】((株)広島メタルワークの例)

インターンシップ・プログラムの内容

【受入場所】 ベトナム現地法人(CAD/CAM会社) ~ 現地での宿泊場所, 通勤手段の確保が必要[今後の調整事項]

【使用言語】 日本語, ベトナム語, 英語

【受入時期・期間】 3か月×4回, 通年で受入

【人数】 1期間に1名程度, 年間を通してのべ4名受入

【業務内容】 現地駐在員(日本人1名)の補佐として配置し, CAD/CAM技術を学んで, 現地社員への業務指示や指導をサポート。本社から出張で現地を訪れる社員の業務サポートや周辺にある関連企業の工場視察等も実施。

場所	時期	期間	人数	業務内容(案)		
県内	春	2週間~	1名	商品開発	接客体験	データ処理 /分析
県外	夏	1か月 程度	~5名	営業補助	外国人 住民対応	アプリ開発
	秋	2~3 か月	~10名	営業企画	外国人 観光客対応	プログラ ミング
海外	冬	~6か月	11名~	市場調査	イベント 運営支援	海外展開 支援
	通年					

17

【インターンシップ】モデルケース④： 地方公共団体(大崎上島町の例)

インターンシップ・プログラムの内容

【受入場所】 大崎上島町役場 ~ 広島市内からの通勤は困難であり, 受入期間中の宿泊場所の確保が必要[今後の調整事項]

【使用言語】 日本語

【受入時期・期間】 1か月×6回, 業務の繁忙期を除き, 夏学期から秋学期の時期に受入

【人数】 1期間に1名程度, のべ6名受入

【業務内容】 町の施策を企画立案する部署又は事業部門に配置し, その部署が担当する事業やイベントの運営に携わるほか, 担当業務に係る住民のニーズを聞き取り調査し, 町の施策や事業への反映を, 町長に直接提案する。

場所	時期	期間	人数	業務内容(案)		
県内	春	2週間~	1名	商品開発	接客体験	データ処理 /分析
県外	夏	1か月 程度	~5名	営業補助	外国人 住民対応	アプリ開発
	秋	2~3 か月	~10名	営業企画	外国人 観光客対応	プログラ ミング
海外	冬	~6か月	11名~	市場調査	イベント 運営支援	海外展開 支援
	通年					

住民対応や公営塾の
スタッフ補助など

18

インターンシップ・プログラムに関する 今後の調整事項(個別調整)

- インターンシップ受け入れは、新大学の第1期生が2年生になる2022(令和4)年度から開始するため、その前年度となる2021年度までに、受入部署や業務内容などの詳細を個別調整。
- 宿舍や通勤手段、費用負担、保険加入など、制度の詳細についても、合わせて検討を進める。

《個別調整を要する事項の例と現時点の考え方》

・ 宿舍

- 市内→不要
- 市外・県外・海外→受入企業の寮もしくは社宅に入居(原則企業負担とし、学生の負担は無し)
※ 寮等が無い場合は、費用負担も含め別途調整

・ 通勤手段

- 市内→受入企業等から交通費を実費支給(企業負担)
※ 交通費の支給がない場合、受入条件としてその旨を明記すれば可
- 市外・県外・海外→現地の宿舍から勤務場所までの交通費を実費支給(企業負担)
※ 公共交通機関がない場合、通勤手段の確保が必要

・ その他

- 海外渡航旅費/市外・県外赴任旅費(原則学生負担)
- 保険加入(大学が斡旋する保険への加入を義務付け、学生負担)
- 食費など(学生負担)
- 守秘義務など(大学と企業等の覚書に基づき、学生から誓約書を提出するなど)
- インターンシップを希望する学生が受入人数を上回った場合の選抜方法など

今後のスケジュール

《企業・団体等連携部会》

